

都立練馬工業高校 学カスタンダード

<p>(2) 世 界 の 一 体 化 と 日 本</p>	<p>ア ユーラシアの諸文明</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 中国が数千年にわたって東アジア世界の文明的中心の位置を一貫して占め続けたことの、特異な歴史的意義に注目させる。 2, 万里の長城・兵馬俑などの秦の始皇帝の事績によって、中華帝国の壮大なスケールを感得できる。 3, 州の封建体制、秦・漢の中央集権体制を理解できる。 4, 人類最古の農耕文明が形成された西アジア世界の意義に着目させるとともに、古代オリエント史を概観できる。 5, イスラーム教の教義と文化を理解できる。 6, 地中海沿岸地方（南ヨーロッパ）とその北側に広がる平原地帯（東・西ヨーロッパ）との、風土・文化・歴史の大きな違いが理解できる。 <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, イギリス産業革命の歴史的意義を理解できる。 2, 自由主義・ナショナリズム・ロマン主義・社会主義といった政治理念について、それぞれの中心的な主張を確認できる。 <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 自由貿易の旗印の下で推進した三角貿易や再度にわたる侵略戦争などに着目し、19世紀の欧米諸国の対外戦争を理解できる。 2, 南京条約、北京条約で合意された内容を具体的に確認し、それらの不平等条約たる所以を理解できる。 3, イギリスを先頭とする西欧列強とは異質の大国ロシアが、東アジアにおける植民地獲得競争にきたから参入してきた事情を略地図などを利用して確認できる。
--	---

都立練馬工業高校 学カスタンダード

(3) 地球社会と日本	<p>ア 急変する人類社会</p> <p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 世紀転換期に向けて急激に進行したアフリカ分轄と中国分割に焦点を当て、この時期の植民地獲得競争の過熱した状況に気付くことができる。 2, 国際関係が日露戦争を境に大きく転換し、英・独の対立が激しくなっていくことが理解できる。 3, 英独の3C政策と3B政策の対立を教科書の地図を利用して視覚的にとらえることができる。 4, 清朝の下での改革をめざす洋務派、変法派、清朝打倒をめざす革命は、義和団に見られるような排外的な民衆運動、といった変革の諸路線の立場の相違を明確に理解できる。 5, 20世紀初頭におけるアメリカの繁栄と大衆文化の出現を関連付けて理解できる。
	<p>イ 世界戦争と平和</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 第一次世界大戦の展開を大まかに理解できる。 2, ロシア革命の意義と初期ソヴィエト政権が世界に与えた影響を理解することができる。 3, ヴェルサイユ体制とワシントン体制の確立が新たな国際対立を生み出す原因になったことを理解できる。 4, 両大戦間の短い幕間という観点から、欧米諸国の相対的・一時的安定の様相をまとめることができる。 5, アメリカの大恐慌が世界恐慌へと拡大していくメカニズムを理解できる。 6, 日、独、伊のファシズム体制について、国内の全体主義体制の確立と対外侵略政策と観点から理解することができる。 7, 第二次世界大戦の様相をヨーロッパ戦線、アジア・太平洋戦線の両面から理解することができる。 8, 教科書の図版を用いて、ヨーロッパを主な舞台とする冷戦秩序の形成過程を整理し、理解することができる。 9, 冷戦体制下でのドイツ、朝鮮、ベトナムにおける分断国家の出現について、そのメカニズムを考察することができる。